

時代祭

明治二十八年、平安奠都千百年記念祭に平安神宮が創建されました。この時市民により平安講社が組織され、記念行事の一環として始まりました。祭日は桓武天皇が長岡宮から遷御した日にちなんでいます。

平安から明治維新期までの風俗や文物を行列で見せ、時代考証も忠実に行われます。神宮で神幸祭を行ったあと御賢木（おんさかき）、御鳳輦（ほうれん）を中心とする神幸列が京都御所へ入ります。正午、御所の建礼門前から行列を整えて神宮へ還幸。

●当初は山国隊を先頭に六行列 ●大正十年には八行列 ●昭和六年には十行列 ●昭和十八年以降は一時中止 ●二十五年に再興され、この時から婦人列が加わる ●現在の行列の順序は、維新勤王隊を先頭に、参列者約二千名、約二キロの列となる。その他、馬七十頭、牛二頭、馬車、牛車など。

時代祭りの行列順

明治維新時代

- 維新勤王隊列 先頭の鼓笛隊が行列のペースを決める
- 幕末志士列 桂小五郎・西郷吉之助・坂本龍馬ら明治維新で大きな働きをした人物の行列

江戸時代

- 徳川城使上洛列 当時の武家風俗を再現
- 江戸時代婦人列 皇女和宮や蓮月、吉野太夫、出雲阿国らが加わる

安土桃山時代

- 豊公参朝列 慶長元年の豊臣秀頼初参内と翌年の元服の行列を模したもの
- 織田公上洛列 応仁の乱後、衰退した京都の復興のため上洛した織田信長の列

吉野時代

- 楠公上洛列 後醍醐天皇の上洛を導いた楠正成一族の行列。正成と正季の甲冑がみもの。
- 中世婦人列 大原女、桂女、淀殿などが登場し、それぞれの時代の風俗を再現する。

鎌倉時代

- 城南流流鎧馬列 城南離宮で行われた流鎧馬の装束を再現。

藤原時代

- 藤原公卿参朝列 平安時代中期以降の文武両様の姿を表したもので、行列のものは夏様式。
- 平安時代婦人列 武装した巴御前、女官姿の紫式部と清少納言らのほか、百済王明信も。

延暦時代

- 延暦文官参朝列 公卿諸臣が朝廷に参上する情景を表したもの
- 神饌講社列 神饌物を奉獻する人たちの列
- 前列 神幸列の前を行き、雅楽の奏者など優美な衣装の列で、多数の狩衣装束のお供が従う。
- 神幸列 御賢木を先頭に、御祭神である桓武天皇と孝明天皇の御鳳輦が巡行する。神幸列に献花する花を頭にのせた白川女の列
- 白川女献花列 丹波国の弓箭組を模したもので、桓武天皇の平安遷都の際には列を警護し、
- 弓箭組列 維新では山国隊とともに活躍したといわれる。